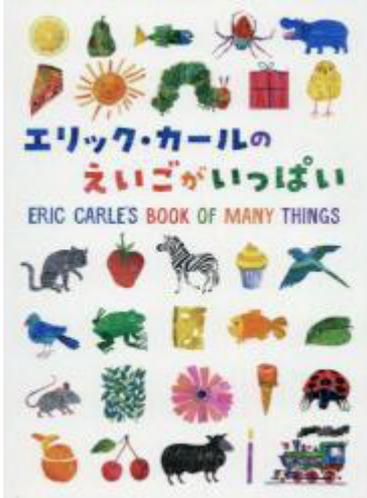


## 市民図書館所蔵のおすすめの本「2020年10月」

### 10月のおすすめの本

読書は、広い世界を知り、心の世界を豊かに育み、大きな楽しみを与えてくれます。  
日々成長する子どもたちにとって読書は、健やかな人間形成の手助けをしてくれます。  
大分市民図書館司書が選んだ今月のおすすめの本です。

#### 児童書

 <p>『エリック・カールのえいごが いっぱい』</p> <p>エリック・カール 絵 〔偕成社〕</p>	<p>身の回りのことや生き物の名前を英語にしたまさに“えいごがいっぱい”な絵本です。ページをめくると「はらぺこあおむし」で知られるエリック・カールの色鮮やかな世界が広がっていて、見るだけでもその世界観を楽しむことができます。今まで彼が描いてきた動物や虫たちもたくさん登場していて楽しみながら英単語も学べます。</p>
 <p>『原稿用紙1枚の物語』</p> <p>あいほらまひろ 著 〔KADOKAWA〕</p>	<p>読書の秋。何か本を読みたいけど「時間がない」「長い物語は苦手」という人にこの本をおすすめします。一つの物語が原稿用紙1枚に書かれているので、短い時間でも読むことができます。そして、一つの物語を読んだ後には、表紙の女の子の解説が入り、まるで友達と本の感想を話しているような気持ちになります。恋の話やぞっとする話、くすっと笑える話など、いろんなジャンルの物語が詰まっていますよ。</p>



### 『リスからアリへの手紙』

トーン・テレヘン 著  
〔河出書房新社〕

最近、手紙を書くことが少なくなって来ましたよね。この本は個性豊かな動物たちのちょっと不思議な手紙のやり取りを描いた本です。何を書いていいのかわからないと悩む動物たちの姿がかわいらしく、素直な気持ちを伝え合うのに手紙もいいなと、ほのぼのとした気持ちにしてくれます。最後に手紙をもらった太陽はみんなの気持ちを汲み取ってなんと返事をするのでしょうか。大人のための童話です。



### 『信じた道の先に、花は咲く。』

太田朋子 著  
〔マガジンハウス〕

86歳の現役科学者の著者が語る日々の幸福の在り方、そして希望の持ち方とは？ 毎日の忙しい生活の中で、幸せをつかむ方法について考えたことがありますか。著者は82歳で日本人女性で初となる世界的に権威のある科学賞、クラフォード賞を受賞。それは決して順風満帆なことではありませんでした。著者の自分を信じる生き方や強靱な心の持ち方に、幸せをつかむ方法を見出すことができます。

## お問い合わせ

教育委員会事務局教育部社会教育課大分市民図書館

電話番号：(097)576-8241

ファクス：(097)544-5615

〒870-8504 大分市荷揚町2番31号

電話番号 097-534-6111(代表) 097-534-6119(時間外) 法人番号400002

開庁時間：月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時15分(祝日・休日および年末年始)

